

新入生代表あいさつ（博士前期課程）

春爛漫の美しい季節となり、心華やぐこの頃、私たちは埼玉県立大学大学院の入学を迎えることが出来ました。残念ながら入学式は中止となりましたが、新入生一同を代表し、ご挨拶申し上げます。

私は4年前、埼玉県立大学に入学し、同じ志を持つ仲間達と共に支え合い、臨床検査技師をめざして専門的な知識や技術を学んできました。それに加えて、医療に携わる者として本学の「連携と統合」の教育に基づき、一つの問題に対し、複数の専門職が協力して問題解決を行う専門職連携の重要性を学びました。

さて、近年の保健医療福祉を取り巻く環境は、少子高齢化の進展、医療技術の進歩、及び医療提供の場の多様化等により日々めまぐるしく変化しています。それに伴い、臨床検査技師も病院内での活躍にとどまらず、地域包括ケアシステムの一員としての働きかけや、研究面からの医療への貢献等も求められています。

私たちは、これらの変化により今後直面するであろう課題に対応し、質の高い医療サービスの提供者としての役割を担っていくために、先に述べた専門職連携の実施、そして更なる知識を身につけ、論理的思考力を高めることにより専門職として成長していく事が必要です。

その為には、相手を尊重し、多種多様な価値観を受け入れる事が出来る人格を「陶冶」していくこと、そして学業や研究活動、様々な人との出会いのなかで「進取」に努め、多様な連携を通じて「創発」していく事が重要であると考えます。

これからの大学院生としての日々の中で、本学の基本理念である「陶冶・進取・創発」の精神のもと、一人の人間、そして専門職としてさらなる成長や社会貢献ができるよう、精進して参ります。

最後に、日頃より支えて下さる諸先生方をはじめ、大学職員の皆様、大学院進学に理解を示してくれる家族など、多くの方への感謝の気持ちを忘れず、埼玉県立大学で再び学ぶ事ができる喜びを噛みしめ、学業・研究に邁進する事を誓い、新入生代表挨拶とさせていただきます。

保健医療福祉学研究科（博士前期課程）

新入生代表 飯島 竜星